

季刊

はまかせ



国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
日本医療機能評価機構・平成16年認定

Hamanomachi Hospital

2018 第70号
Apr.



C O N T E N T S

- 専門の立場から
循環器疾患の新しい診断・治療について
..... 船越 祐子
- 専門・認定看護師の紹介
- 地域医療連携課だより
- 新任医師の紹介
- 登録医から一言
- 外来診療担当医一覧

理 念

『病める人の身になって、
心のこもった最良の医療を目指します』

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

Hamanomachi Hospital

〒810-8539 福岡市中央区長浜3丁目3-1 TEL 092・721・0831 FAX 092・714・3262

<http://www.hamanomachi.jp>

循環器疾患の新しい診断・治療について



循環器診断部長 船越 祐子

はじめに

循環器疾患は大きく分けて、虚血性心疾患、不整脈、心筋症や心不全、弁膜症、先天性心疾患、肺高血圧症、大動脈・末梢血管疾患、などがあります。疾患発症当初は、心機能の保たれた虚血性心疾患や心房細動など単独疾患であっても、それを引き金に負の連鎖で心機能低下、心不全の発症へとつながることは往々にしてよくあることで、心不全症例の心機能低下の原因の見極め、総合的な治療が重要になります。

近年、超高齢化社会へ突入し、心不全患者の激増が予想されています。誰もが循環器疾患を罹患しうる時代へなりつつあるのです。今回、循環器疾患の概念や新しい治療を一部ご紹介します。

●心不全

「心不全」は非常に大きな疾患概念ですが、特に2次性心筋症の診断は重要で、原疾患治療の遅れは病状進行へとつながります。当院では必要症例には、積極的に心筋生検、心臓MRIなどを行い、心アミロイドーシス、心サルコイドーシスなどのやや診断に難渋する心臓限局型症例の診断、治療へとつなげています。2016年日本循環器学会のガイドラインに「心臓限局型サルコイドーシス診断の手引き」が新たに設けられました。

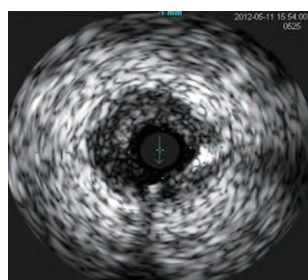
近年、心収縮機能の保持された心不全(HFpEF)が急増しており、今後高齢化社会へ向けて益々の増加が見込まれるものの、予後

改善への治療法は確立されていません。くりかえす心不全増悪には、食事や生活環境に原因があることも多く、再発予防・予後改善には患者教育、看護師・栄養士・理学療法士・薬剤師など多職種介入、心臓リハビリテーションが重要です。

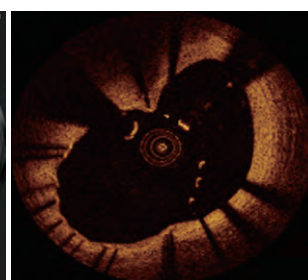
弁膜症に対しては、大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI,またはTAVR)や僧帽弁閉鎖不全に対するMirtaClipなど、カテーテルによる治療も登場しており、高齢者や合併症で外科手術困難症例にも有効な選択肢となっています。

●虚血性心疾患

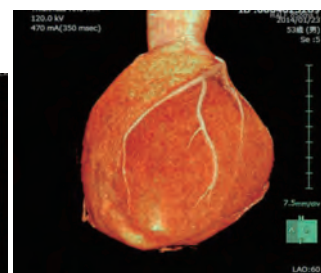
経皮的冠動脈インターベンション(PCI)は、ステントを中心として急激な進歩を遂げてお



IVUS画像



OCT画像



冠動脈CT

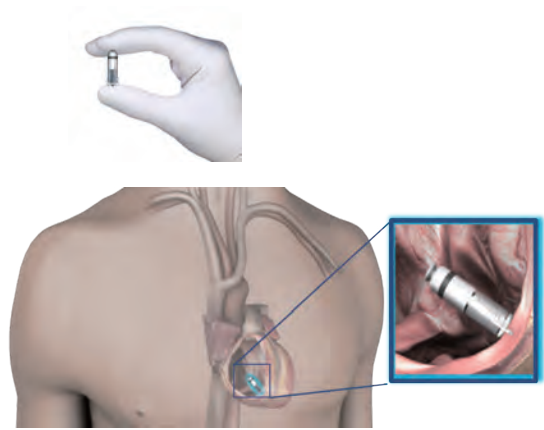
り、約10年前に登場し現在主流となっている薬剤溶出ステント(DES)も、プラットフォームとしてのステント、コーティング、薬剤、三者の進化がみられています。またDESの登場で再狭窄率は著しく低下しているものの、再狭窄を繰り返す症例もあり、この再狭窄に対する治療戦略として、薬剤溶出性バルーン(DCB)が推奨されるようになってきました。PCIを行う際の冠動脈内部観察評価手段として、血管内超音波(IVUS)に加え、IVUSの約10倍の解像度を持つ光干渉断層法(OCT)を使用し、治療成績の向上に役立てています。

また診断・治療の補助手段としての冠動脈CTも当院では予約制で毎日午後行っており、検査件数も年々増加傾向にあります。

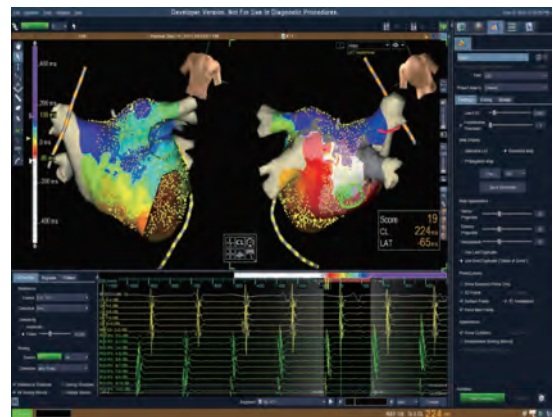
●不整脈

不整脈の中でも特に心房細動は非常に多く、80才以上の高齢者の5~8%が罹患する「common disease」です。心原性脳塞栓症の予防を目的とした抗凝固療法は、ワーファリンに加え、2011年以降次々に直接作用型経口抗凝固薬(DOAC)が登場し、臨床試験でもワーファリンと同等以上の有効性・安全性が示されました。最新のNEJM2018年の論文では、心房細動アブレーション群で薬物療法群と比較して再入院率、死亡率が有意に低下したという結果が報告されました。心房細動の根本的治療としてのアブレーション(肺静脈隔離術)も年々技術は進歩しており、今後ますますアブレーション治療の有用性が期待されています。

ペースメーカーも、2012年からMRI対応ペースメーカーの使用が可能となり優先的に選択されています。2017年には、リードレスペースメーカーが承認されました。リードレスペースメーカーは、リードやポケットに関する合併症が起らず手術時間も短いという利点があり、今後の展開が期待されています。



リードレスペースメーカー Micra



カテーテルアブレーション(EnSite)

最後に

以上簡単に一部の循環器疾患の新しい知見について説明しましたが、診断、疾患概念、治療、どの分野においても進歩は著しく、今まで不可能とされていた領域に対しても扉が開かれつつあります。一度心疾患に罹患した患者は生涯にわたって治療を継続する必要があり、日常臨床の疑問点、問題点に対し、現時点でできる治療をかかりつけ医の先生方と連携を持ちながら持続して取り組むことは非常に重要なことであると思われます。

当院の循環器内科は、月~金まで毎日新患外来を受け付けており、それ以外の急患も救急部と24時間受入体制を整えています。当院で不可能だが必要と判断された先進医療、外科治療に関しても適切に判断し、基幹病院への橋渡しを行います。診断から治療まで必要時は遠慮なくご相談ください。

専門・認定看護師の紹介



感染管理認定看護師

【富田 裕子】

感染管理認定看護師である私は、患者さん、そのご家族・面会に来られる方、病院で働くすべての人を感染から守るために、ICT（感染対策チーム）のメンバーと組織横断的に活動しています。活動内容は、感染症発生の調査や感染対策の実施状況の確認と指導、職員へ感染に関わる情報提供と教育、感染対策マニュアルの作成など多岐にわたります。

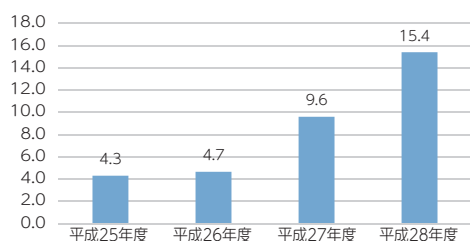
感染対策の基本は手指衛生です。平成25年度より手指衛生の遵守率向上のため各部署のリンクナースと取り組んでいます。その結果、手指消毒剤使用量が平成28年度は平成25年度の3倍以上となり、本年

度も昨年度以上に使用量が増加しています。

また医療の進歩、超高齢社会により、一つの医療施設では医療を完結できない状態となっています。そのため感染対策においても地域で取り組むことが求められ、2012年の診療報酬改定で感染防止対策地域連携加算が設置されました。当院は加算1施設に登録し、加算2の施設、井上病院、昭和病院、鳥飼病院の3施設と質の高い感染対策を目指し、カンファレンスを3回/年開催し、感染対策の確認や情報交換しています。

今後も感染が起きないように、また感染が起きてでも拡大せず最小限にとどめることができるよう活動していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

1000患者1000日当たりの手指消毒剤使用量（単位：L）



新人看護師研修



感染防止対策地域連携カンファレンス

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

【山口 直美】

脳卒中は、突然発症しそれまでの生活や生き方を大きく変化させます。できることができなくなった不安、分かっていたことが分からなくなった混乱、体動制限による苦痛など、今までとは違う自分に戸惑いながら入院生活を過ごすことになります。私は、障害とともに生きる患者さんに寄り添い、その人らしい自立のあり方を一緒に考え支援すること、患者さんの持つ力を信じ諦めないことを心掛けています。

現在、8AB病棟に所属しています。急性期治療の安全な実施と合併症の予防、日常生活でのリハビリテーション、安全な経口摂取と口から食べることを目標にスタッフとともに取り組んでいます。医療ソーシャルワーカーやリハビリスタッフと情報共有をしながら、より良い状態で回復期リハビリテーション病院へ繋げる役割を担っています。自宅退院

の患者さんには、再発予防の生活指導を行っています。また、入院中の患者さんや来院された方々への脳卒中啓発活動として、年に3回「脳卒中新聞」を発行し1階フロアに掲示しています。

脳卒中リハビリテーション看護は、脳卒中の予防、脳卒中発症直後から在宅まで幅広い患者さんを対象としています。「脳卒中」に関することで何かありましたら、遠慮なくご相談下さい。



市民公開講座開催報告

●平成30年1月22日(月) 第21回 乳腺の病気と乳房再建について

- ①乳腺外来でよく診られる疾患 -のう胞 腺維腺腫 乳腺症 乳がん- 外科 本山 由利菜
②乳房再建について 形成外科 江藤 ひとみ

●平成30年3月26日(月) 第22回 失明原因第2位！知っておきたい糖尿病性網膜症 眼科部長 佐々 由季生



第21回 公開講座①



第21回 公開講座②



第22回 公開講座

市民公開講座スケジュール 開催日時：奇数月 第4月曜日 14時～15時30分 会場：浜の町病院 3階 研修講堂

開催	開催日時	診療科/講師	タイトル
第23回	平成30年5月28日(月) 14時00分～15時30分	血液内科 平安山英穂 血液内科 衛藤徹也	意外に多い 血液の病気 ①だれも教えてくれなかった血液検査の読み方考え方 ②もしも、あなたが白血病になったら
第24回	平成30年7月23日(月) 14時00分～15時30分	救急部 廣津こう平	熱中症について、正しい知識と実際の対策
第25回	平成30年11月26日(月) 14時00分～15時30分	呼吸器内科 前山隆茂	肺の生活習慣病 COPD (慢性閉塞性肺疾患)

都合によりタイトルや内容を変更する場合がございます。その際はご了承ください。
9月24日(月)は祝日のため開催はありません。

【お問い合わせ】浜の町病院 地域医療連携課 092-721-9991

舞鶴大学

平成30年2月14日に舞鶴公民館の主催で高齢者地域参画支援事業「舞鶴大学」が開催されました。当院から糖尿病・内分泌内科部長 平松医師が「～知って安心！糖尿病徹底予防術～」について講演を行いました。糖尿病という身近な話題に参加者の皆様も熱心に聞き入っておられました。



バスのご利用案内を作成しました

当院までのアクセスが悪くご不便・ご迷惑をおかけしておりまして誠に申し訳ございません。この度、アクセスが悪いとのご意見をいただきまして当院までのバスのご利用案内を作成しました。1Fの総合案内とラウンジの本棚に設置しておりますのでご自由にお取り下さい。(ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください)

浜の町病院へのバスのご利用案内

各方面から浜の町病院までのバスのご利用案内です。
バスでお越しの際のご参考になれば幸いです。

案内図は2017年12月1日現在のものです。変更される場合もございますので予めご了承ください。



■西方からお越しの方



■東方からお越しの方



■南方からお越しの方



新任医師の ご紹介

新年度に伴い、35名の医師が着任いたしました。

地域の先生方と病診・病病連携を図りながら、当院の理念である「病める人の身になって、心のこもった最良の医療を目指します」を念頭に、患者さんに安心と満足の医療を提供してまいります所存です。
今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

採用医師 (平成30.4.1付)

血液内科医師	渡邊 裕文 (H27年卒)	外科医師	久留 裕 (H24年卒)
血液内科医師	藤井 香江 (H27年卒)	外科医師	溝口 公久 (H28年卒)
循環器内科医師	本田 勝也 (H21年卒)	整形外科医師	萩尾 聡 (H24年卒)
循環器内科医師	山岡 慶士 (H28年卒)	整形外科医師	山中 美沙 (H27年卒)
消化器内科医師	杉野 絢子 (H28年卒)	脳神経外科医師	奥田 智裕 (H24年卒)
呼吸器内科医師	三雲 七重 (H19年卒)	皮膚科医師	小田 真理 (H22年卒)
呼吸器内科医師	鷺尾 康圭 (H24年卒)	皮膚科医師	呉竹 景介 (H28年卒)
呼吸器内科医師	川床 健司 (H26年卒)	泌尿器科医師	待鳥 亜沙子 (H23年卒)
呼吸器内科医師	大後 徳彦 (H28年卒)	産婦人科医師	城戸 綾子 (H24年卒)
腎臓内科医師	永井 涼人 (H28年卒)	産婦人科医師	詠田 真由 (H24年卒)
感染管理部医長	隅田 幸佑 (H18年卒)	眼科医長	疋田 伸一 (H19年卒)
感染症内科医師	南 順也 (H27年卒)	眼科医師	木下 博之 (H27年卒)
腫瘍内科医師	土居 靖宗 (H26年卒)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師	中島 紘一郎 (H27年卒)
膠原病内科医師	前川 真貴子 (H21年卒)	放射線科医師	津嶋 久美子 (H15年卒)
健康医学センター医師	松尾 千華 (H7年卒)	放射線科医師	高瀬 華恵 (H28年卒)
消化器外科部長	山元 啓文 (H5年卒)	麻酔科医師	田邊 光和子 (H23年卒)
外科医師	田村 公二 (H18年卒)	麻酔科医師	井ノ上 有香 (H27年卒)
外科医師	有村 亜希子 (H24年卒)		

退職医師 (30.3.31付)

地域の先生方には、浜の町病院在職中は大変お世話になり有り難うございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

血液内科医師	嶋川 卓史	小児科医師	兒玉 志保	産婦人科医師	藏本 和孝
血液内科医師	上野 稔幸	消化器外科部長	許斐 裕之	産婦人科医師	後藤 遥
循環器内科医師	木下 聡子	外科医師	池永 直樹	眼科部長	佐々由季生
呼吸器内科部長	鶴田 伸子	外科医師	久野 恭子	眼科医師	西村 太吾
呼吸器内科医師	井手 真亜子	外科医師	本山 由利菜	耳鼻咽喉科医師	山本 陵太
呼吸器内科医師	内海 太裕	外科医師	山本 真大	放射線科医師	池 俊浩
感染管理部長	内田 勇二郎	整形外科医師	末田 麗真	放射線科医師	下村 悠太郎
感染症内科医師	中澤 愛美	整形外科医師	北出 一季	麻酔科医師	牧園 玲子
腫瘍内科医師	上ノ町 優仁	脳神経外科医師	前原 直喜	麻酔科医師	久保田 諒
膠原病内科医師	横山 佳奈	皮膚科医師	康 渚		
健康医学センター部長	高崎 智子	泌尿器科医師	上田 耕平		

地域連携だより

登録医から 一言

しらつち耳鼻咽喉科

院長 白土 秀樹

〒811-1344 福岡市南区三宅3丁目16-26

Tel:092-554-8717

Fax:092-554-8718

HP:<http://shirajibi.com>



院長 白土秀樹

みなさまこんにちは！しらつち耳鼻咽喉科の白土秀樹です。平成28年11月1日に福岡市南区三宅に耳鼻咽喉科クリニックを開院させていただきました。那珂川沿いの明るい立地で春には川沿いの桜が満開になります。

浜の町病院には赤坂の旧病院の頃から新病院の移転後まで5年足らず勤務させていただき、各科の先生には本当にお世話になりました。大学に長くいたこともあり、浜の町赴任が決まった時には臨床第一線でお役にたてるかどうかとても心配でしたが、臨床力の不足を各科の先生が親身になってカバーしてくださり、専門の頭頸部癌の手術に専念させていただくことができ、大変感謝しています。また、現在も難しい患者さんを紹介させて頂くと、直接ご連絡いただいたり丁寧な治療をしていただいたりと“浜の町イズム”を本当にありがたく噛みしめています。

開業して感じたのはとにかく“すべてを一人で判断しなければいけない”というプレッシャーでした。勤務医時代は、耳鼻科の同僚医師以外にも各科専門の先生に電話1本で気軽にご相談させて頂いていましたが、そのありがたさを現在つくづく感じています。特に境界領域の疾患は直接耳鼻科の治療に影響するため、“ああ、あの先生に相談できたらな”と思う事しばしばです。これからも“なんでこんなことで相談するのか”と思われる事もあるとは思いますがどうぞお許しいただければ幸いです！

現在当クリニックで力を入れているのは、専門性を活かした専門再来と、患者さんへの優しい対応です。専門性は20年間専門にしてきた頭頸部癌の治療後フォローと早期診断、セカンドオピニオンを中心とした“腫瘍外来”、非

常勤医師として菊池奈美先生をお迎えし、九大で専門としてこられた“小児耳鼻咽喉科再来、耳疾患再来”を二つの柱に、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎外来、いびき睡眠時無呼吸症候群外来などのあらゆる耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患にきめ細やかな対応を心がけています。火曜日午後は2診専門外来体制で高度な医療の提供を行っていきたいと思います。その目的を達するため、耳鼻咽喉科クリニックとしては珍しい高解像度CTを導入しました。その他エコー、高性能ファイバーなどを用いた“より精度の高い早期診断”に力を入れています。

当院は開院後まだ1年少しで、待ち時間、応対を含め必ずしも患者さんのご満足を提供できている訳ではありませんが、スタッフ全員が“どうすれば患者さんに喜んでいただけるのか”を常に心に留めて笑顔いっぱいに診療に当たっています。当院の行動指針は“おやこあら”です！

お：おもいやりを忘れずに

や：やさしい笑顔であつたかく

こ：こちよさにこだわり

あ：あんぜん、あんしんを大切にしながら

ら：素敵な“らしさ”を伸ばしましょう

これは職員のすべての言動の源になっており、毎朝全員で唱和し毎日気持ち新たに診療に当たっています！

これからも浜の町病院とはきちんと連携をとりながら、開放型病床を利用した手術執刀を含め、少しでも患者さんに寄り添って持てる力を地域のためにお役にたてればと思います。浜の町病院の先生方、どうぞこれからもご指導よろしくお願いします！



■ 救急患者紹介連絡先 月～金（8:30～17:15） Tel 092-721-9913(連携課直通) / Fax 0120-721-991(連携課直通)
上記以外の時間及び土日祝 Tel 092-721-0831(病院代表)

(平成30年4月1日現在)

診 療 科	時間	専 門	月	火	水	木	金
内 科	午前	総 合 診 療	隅 田 幸 佑	南 順 也	当 番 医	隅 田 幸 佑	当 番 医
		血 液	飯 野 忠 文	吉 田 周 郎	衛 藤 徹 也	平安山英穂	栗 山 拓 郎
		循 環 器	高 原 勇 介	小 河 清 寛	白 井 真	船 越 祐 子	塩 見 哲 也
		消 化 器	尾 石 義 謙	瀬 尾 充	瀬 尾 充	岩 崎 一 秀	尾 石 義 謙
		腫 瘍	田 中 吏 佐	田 中 吏 佐	田 中 吏 佐	田 中 吏 佐	三ツ木健二
		肝 臓	柴 田 倫 子	高 橋 和 弘	具 嶋 敏 文	高 橋 和 弘	高 橋 和 弘
		呼 吸 器	前 山 隆 茂 麻 生 達 磨	前 山 隆 茂 三 雲 七 重	前 山 隆 茂 麻 生 達 磨	前 山 隆 茂 鷺 尾 康 圭	前 山 隆 茂 三 雲 七 重
		糖尿病内分泌	渡 邊 洋 子	平 松 真 祐	平 松 真 祐	渡 邊 洋 子	平 松・渡 邊
		腎 臓	原 祥 子	吉 田 鉄 彦	出 口 孝 史	出 口 孝 史	吉 田 鉄 彦
		膠 原	—	前 川 真 貴 子	吉 澤 誠 司	吉 澤 誠 司	—
脳神経センター 脳外科（月・水・金）の午後、 神経内科の午後は 紹介患者と予約のみ	午前	脳外科	松角宏一郎 上坂十四夫	—	松角宏一郎 上坂十四夫	—	松角宏一郎 上坂十四夫
			—		—		—
			神 経 内 科		佐竹・松山		佐竹・松山
	午後	脳 外 科	松 山 友 美 松角宏一郎 奥 田 智 裕	—	佐竹真理恵 奥 田 智 裕	—	佐竹(新患のみ) 松角宏一郎 奥 田 智 裕
			—		—		—
			—		—		—
			—		—		—
	午後	乳 腺	—	—	—	大城戸政行 (紹介新患のみ)	—
			—		—		—
			—		—		—
外 科 ※木曜日の午後は Dr大城戸への乳腺紹介のみ	午前	消化器・一般	山 元 啓 文 有村亜希子	一 宮 仁 植 木 隆	前 山 良 河 野 博	山 元 啓 文 前 山 良	植 木 隆 田 村 公 二
			—	河 野 博	—	田 村 公 二	—
			呼 吸 器	—	松本耕太郎	松本耕太郎	—
			乳腺・甲状腺	大城戸・有村	大城戸・河野	河 野 博	田 村 公 二
	午後	乳 腺	—	—	—	大城戸政行 (紹介新患のみ)	—
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
	午後	婦 人 科	詠 田 真 由 上 岡 陽 亮 大 石 博 子 竹 内 麗 子 城 戸 綾 子	中 西 貴 子 大 石 博 子 前 原 都 高 杉 篤 志 —	友 延 尚 子 上 岡 陽 亮 竹 内 麗 子 前 原 都 中 西 貴 子 —	城 戸 綾 子 竹 内 麗 子 中 西 貴 子 友 延 尚 子 —	高 杉 篤 志 上 岡 陽 亮 大 石 博 子 前 原 都 友 延 尚 子 —
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
整 形 外 科 新患は紹介のみ *受付時間 月・水・金 8:30～10:30 火・木 8:30～11:00	午前	整 形 外 科	紹介新患のみ (当番医)	馬 渡 太 郎 松 井 元 川 原 慎 也 萩 尾 聡 山 中 美 沙	紹介新患のみ (当番医)	松 井 元 井 口 貴 裕 光 安 浩 章 萩 尾 聡 —	馬 渡 太 郎 井 口 貴 裕 光 安 浩 章 川 原 慎 也 —
				—		—	—
				—		—	—
				—		—	—
				—		—	—
形 成 外 科	午前	形 成 外 科	松 本 大 輔 江 藤 ひとみ	—	松本大輔 江 藤 ひとみ	—	当番医
					—		—
泌 尿 器 科	午前	泌 尿 器 科	小 藤 秀 嗣	待鳥亜沙子	小 藤 秀 嗣	山 崎 武 成	小 藤 秀 嗣
			山 崎 武 成	—	山 崎 武 成	—	待鳥亜沙子
			待鳥亜沙子	—	待鳥亜沙子	—	—
小 児 科 午後は予約のみ 内分泌 第3木曜日のみ（予約） 循環器 第4木曜日のみ（予約）	午前	小 児 科	鷺 尾 真 美	上 田 圭 希	内 田 理 彦	武 本 環 美	内 田 理 彦
	午後	小 児 科	上 田 圭 希 予防接種	—	武本(小児神経) 内分泌(第3)	1ヶ月健診 循環器(第4)	鷺 尾 真 美 健診・予防接種
耳 鼻 咽 喉 科	午前	耳 鼻 科	野 田 哲 平 岡 部 翠 西 山 和 郎 —	玉 江 昭 裕 野 田 哲 平 西 山 和 郎 中 島 紘 一郎	—	玉 江 昭 裕 野 田 哲 平 岡 部 翠 西 山 和 郎	玉 江 昭 裕 岡 部 翠 中 島 紘 一郎 —
			—	—		—	—
			—	—		—	—
			—	—		—	—
眼 科	午前	眼 科	疋 田 伸 一 応援医	—	疋 田 伸 一 木 下 博 之	(当番医)	疋 田 伸 一 木 下 博 之
			—		—		—
皮 膚 科 (新患は紹介のみ)	午前	皮 膚 科	竹 内 聡 小 田 真 理	小 田 真 理 呉 竹 景 介	竹 内 聡 小 田 真 理	竹 内 聡 呉 竹 景 介	竹 内 聡 小 田 真 理
			—	—	—	—	—
放 射 線 科	午前	放 射 線 科	松 浦 隆 志	松 浦 隆 志	松 浦 隆 志	—	—
			角 南 俊 也	角 南 俊 也	角 南 俊 也	角 南 俊 也	角 南 俊 也
			亀井僚太郎	亀井僚太郎	亀井僚太郎	亀井僚太郎	亀井僚太郎
		放射線治療外来	舩 本 博 史 平 峯 慶 子	舩 本 博 史 平 峯 慶 子	舩 本 博 史 平 峯 慶 子	舩 本 博 史 平 峯 慶 子	舩 本 博 史 平 峯 慶 子
			—	—	—	—	—
緩和ケア外来 ※原則として当院で診療を 行っている患者のみ 11:00～12:00(完全予約制)	午後	緩和ケア外来	永 山 淳	永 山 淳	—	永 山 淳	永 山 淳
健康医学センター(要予約)	午前	外来ドック	松 尾 千 華 久 野 千 津 子	松 尾 千 華 久 野 千 津 子	松 尾 千 華 久 野 千 津 子	松 尾 千 華 —	松 尾 千 華 久 野 千 津 子
			—	—	—	—	—

受付時間：午前8:30～11:00

発行責任者／浜の町病院広報誌編集委員会 委員長 吉澤 誠司